

目次

[概要](#)

[症状](#)

[確認手順](#)

[システムLED および LCD パネル](#)

[水平な音響騒音](#)

[RPM レベル](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連資料](#)

概要

この資料は Cisco FireSIGHT Management Center および FirePOWER アプライアンスのファンにおいての問題を調査するために従うことができるさまざまな troubleshooting ステップに説明します。

症状

FireSIGHT システムはファンにおいての問題を備えている次のいずれかの動作を表わすかもしれません:

- システムステータスLED はレッドか橙色カラーです。
- FireSIGHT システムをつけた後、それは過度のノイズを作成します。
- FireSIGHT Management Center は次の健全性アラートを表示する:

Module Hardware Alarms: FAN1 fan speed is running **high**.

または、

Module Hardware Alarms: FAN2 fan speed is running **low**.

確認手順

システムLED および LCD パネル

- システム状態はファンが重要な無批判しきい値を超えるととき暗室灯を示します。
- シリーズ 3 FirePOWER アプライアンスで、LCD パネルのシステム状態 モードはファンステータスを表示する。

注: 電源ユニット (PSU) のファンにおいての問題があったら、アプライアンスの後部をチェックして下さい。レッドカラーの電源LED に注意することができます。

水平な音響騒音

FireSIGHT システムのハードウェアモデルによっては、ファンのノイズレベルは異なります。考慮する前にファンは過度のノイズを、判別します使用しているハードウェアモデルの水平な音響騒音を生成しています。アプライアンスの実際のノイズレベルを測定するのにデシベルメートルを使用できます。

アプライアンス型	ハードウェアモデル	水平な音響騒音
FirePOWER アプライアンス	70xx シリーズ	53 dBA 場合のアイドル状態。完全なプロセッサロードの 62 dBA。
	3D71xx シリーズ	完全なプロセッサロードの 64 dBA は、正常なファンオペレーション GR-63-CORE 4.6 音響騒音に会います
	81xx シリーズ	最大正常なオペレーティングノイズは 87.6 dB LWAd です (高温) 典型的で正常なオペレーティングノイズが 80 dB LWAd である。
	82xx および 83xx シリーズ	最大正常なオペレーティングノイズは 81.6 dB LWAd はです (高温。) 典型的で正常なオペレーティングノイズは 81.4 dB LWAd です。
FireSIGHT 管理センター	DC750 (1) Rev.	典型的なオフィス周囲温度の IDLE 状態の <7.0 dBA (ラックマウント)
	DC750 (2) Rev.	典型的なオフィス周囲温度の IDLE 状態の 7.0 dBA
	DC1500	典型的なオフィス周囲温度の IDLE 状態の <7.0 dBA (ラックマウント)
	DC3500	<典型的なオフィス周囲温度の IDLE 状態の 7.0 BA (ラックマウント)

RPM レベル

ファンの 1 つがはたらくことを止める場合シャーシの熱が制御の下にとどまっていることを確かめる 100% RPM の残りのファン実行すべて。従ってシステムのノイズレベルは増加するかもしれません。アプライアンスの水平な音響騒音は非常に高いことを判別したら、システムファンがうまく働いたかどうか確認する次のコマンドを実行して下さい:

FireSIGHT Management Center、

```
admin@FireSIGHT:~$ sudo ipmitool sdr list | grep -i fan
```

```
System Fan 1A | 7500 RPM | ok  
System Fan 2A | 7100 RPM | ok  
System Fan 3A | 7000 RPM | ok  
System Fan 4A | 7200 RPM | ok
```

注: 上記の出力は例です。RPM レベルは使用しているハードウェアモデルによって異なる可能性があります。各ファンのステータスがとして表示されることに注目して下さい。

FirePOWER アプライアンス、

```
> show fan-status
```

-----[Hardware Fan Status]-----

CPU1 : Normal
CPU1 : Normal
Mem1 : Normal
Mem2 : Normal
Sys1 : Normal
Sys2 : Normal

FirePOWER アプライアンスのシエル、

> expert

```
admin@FirePOWER:~$ sudo ipmitool sdr list | grep -i fan
```

```
Processor 1 Fan | 5544 RPM | ok  
Processor 2 Fan | 5544 RPM | ok  
Memory Fan 2 | 4620 RPM | ok  
Memory Fan 1 | 4620 RPM | ok  
System Fan 1 | 5808 RPM | ok  
System Fan 2 | 4655 RPM | ok
```

トラブルシューティング

1. Cisco エンジニア チームがハードウェア報告制度の不具合を識別する場合、パッチは最新のリリースに開発され、含まれています。従って、トラブルシューティング の手順として、ソフトウェア バージョンに FireSIGHT システムのソフトウェア バージョンをアップデートして下さい。

2. それでも問題に直面する場合、アプライアンスのコールド ブートを行って下さい。コールド ブートは次のステップが含まれています:

- センサーの正常 な シャットダウンの実行。
- アプライアンスから電源コードを切り離して下さい。
- アプライアンスを少なくとも 2 分の電源から切り離されて残して下さい。
- 普通のように電源を 2 分後に再接続し、アプライアンスを起動して下さい。

アプライアンスが起動した後、古い健全性アラートは 15 分以内にクリアする必要があります。

注: コールド ブートを問題を解決する原因解析のために有用である可能性がある歴史的ログを取除きます。

3. 受け取れば新しい健全性はファン ステータスの警告 し、トラブルシューティング ファイルを生成し、分析のための Cisco TAC にこれを送信 します。

関連資料

- [Sourcefire アプライアンスはファイル生成手順を解決します](#)
- [FireSIGHT システムの電源ユニットからの健全性アラート](#)